

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山大病院だより

2015  
8月号  
vol.224



特集 入退院センター開設しました



「山大病院通り」は、山口大学医学部附属病院の外来入口に接する市道の延長約2.9kmの区間です。

今回の命名は、宇部市が誇る地域資源の一つである高度医療機関・山口大学医学部附属病院の名称を市道に付けることで、市民の愛着をさらに高めるとともに、市外からの訪問者へのPRやアクセスの向上を図ることを目的としています。

5月26日(火)、宇部市は、医学部附属病院に接する道路(市道)に「山大病院通り」と命名したことを発表しました。

宇部市道に「山大病院通り」と命名されました

山/大/病/院  
NEWS Part 1

患者サービスの  
充実を図るために



特集

# 「入退院センター」 開設しました。

入院・退院時の不安を取り除きます。

平成27年4月、外来棟1階ロビー入り口に  
入退院センターを開設しました。

山口大学医学部附属病院は、県内唯一の  
特定機能病院であるため、短い入院期間で  
手術や検査等を受ける患者さんがたくさ  
ん入院されています。そこで、入退院センタ  
ーは、『入退院患者さんの相談支援の充実  
とともに、速やかなベッドの確保と空床の公  
平かつ有効利用を図り、患者サービスの充  
実を図るための必要な業務及び支援を行  
うこと』を目的に、運用を開始しました。  
限られた場所と人員のため、現在は手術目  
的の第一外科、第二外科、眼科、整形外科、  
泌尿器科及び耳鼻咽喉科の6つの診療科  
の入院予定患者さんを対象に運用してい  
ますが、随時、業務を拡大していく予定で  
す。

窓口では、患者さんが安心して入院・退  
院が行えるよう手続きや医療費制度・限  
度額適応認定証、各種診断書等の説明を  
丁寧に行っています。入院・手術のオリエン  
テーションでは、クリニカルパス（診療計画  
表）などを使用して入院中の経過（治療、  
食事、看護等）をわかりやすく説明してい  
ます。

また患者さんのお話を詳しく聞き、必  
要な情報を入院前に病棟へ伝えるるとも  
に、スムーズに退院（転院）できるように、診  
療連携室にも情報を伝えています。



入退院センターは、診療連携室、患者相  
談室と隣接しており、入退院に関する相  
談業務の三元化（ワンストップサービス）を  
図っており、将来的には、薬剤師、栄養士を含  
めた多職種が協働することで、患者サービ  
スの更なる向上を目指しています。

限度額適応認定証とは：

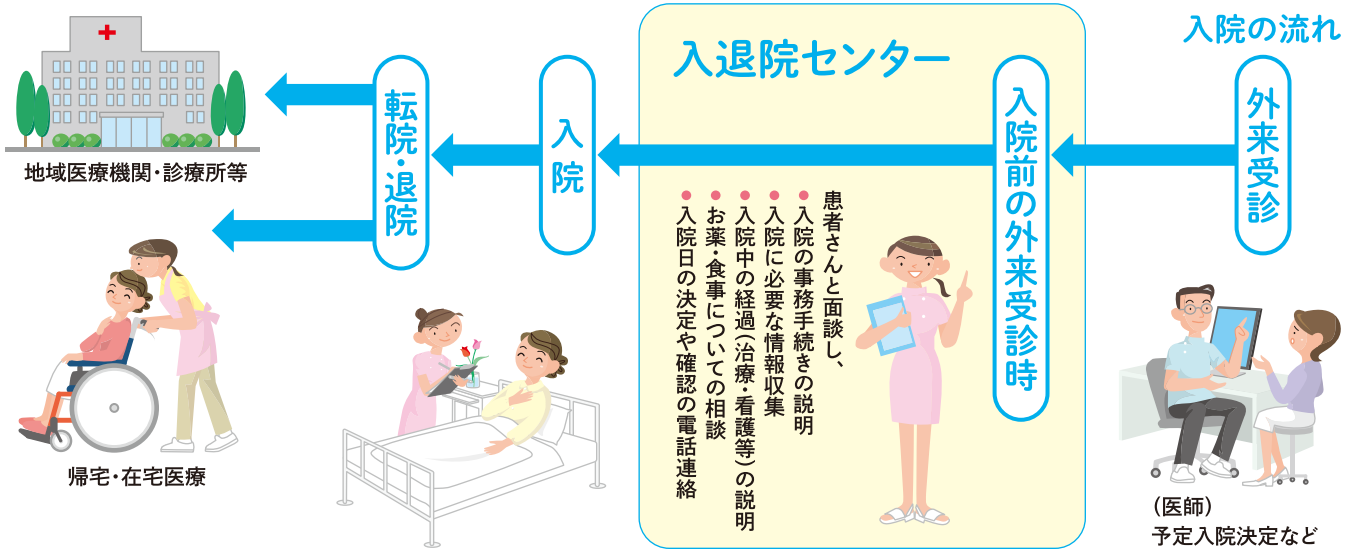
70歳未満の方が、加入されている医療保険者  
（※1）に事前に申請を行い発行される「限度  
額適応認定証」を入院時に提示することで、  
病院窓口でのお支払いが一定の限度額にとど  
められる制度です。

※1…健康保険組合、全国健康保険協会（協  
会けんぽ）、市区町村（国民健康保険）など



# 入退院センター

安心の入退院をわたしたちがサポートします。



このたび、外来診療棟1階エスカレーター付近に、総合案内を設置しました。

総合案内は、来院者に対する院内施設の案内や相談内容に対する対応、入院患者さんの検索や案内、各診療科等の電話番号案内や時間外の急患連絡の該当診療科への電話取り次ぎ等を365日24時間体制で行っています。（17時00分から翌朝7時30分の間は医事課窓口で対応します）



お気軽にご利用ください。  
**総合案内** できました

NEWS

キャリアナビゲーション in 山をを開催しました

6月11日(木)、26日(金)に医学生・研修医を対象とした進路説明会「キャリアナビゲーション in 山」を開催しました。

本院の各診療科(部)や県内15の協力型臨床研修病院が研修の特徴や研修医への教育、支援体制、専門医習得を含めたキャリアサポート体制などについてブース形式で説明しました。本年度4年目の開催となりますが、両日で過去最高の230名の参加がありました。

参加者のアンケートでも、「良かった。将来の進路の参考になりました」「ポリクリ(※)実習だけでは聞けないこと(専門医制度のことなど)も、知ることができました」「お世話になった先生方と再会でできて楽しかったです」「多くの病院の話をもとめて聞くことができる良い機会でした」「是非来年も開催して下さい。ありがとうございます」など好評で、大盛況で終えることができました。

※ポリクリ：医学部高学年における病院実習のこと  
詳細は医療人育成センターホームページへ  
<http://www.cdc.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/intern/top.html>



NEWS

吸い殻クリーン作戦を実施しました



吸い殻を拾う職員たち

6月9日(火)、医学部及び附属病院周辺において、吸い殻クリーン作戦を実施しました。

これは、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」における活動として、医学部と附属病院の労働安全衛生委員会が合同で毎年実施しているものです。

今年は、猪上看護部長をはじめ、教職員14名が参加しました。活動では、禁煙アピール用のユニホームを着用して本院周辺の吸い殻清掃を行うとともに、喫煙者に対して携帯灰皿の配付などを行いました。

NEWS

第1回 小串地区  
労働安全衛生標語募集表彰式



6月29日(月)、第1回小串地区労働安全衛生標語募集表彰式を行いました。

山口大学安全衛生週間にちなみ、医学部及び附属病院の職員に労働安全衛生標語を募集したところ、80作品もの応募があり、その中から小串地区の労働安全委員会委員によって、最優秀作品賞、安全部門賞、健康衛生部門賞の3作品が選ばれました。受賞者には、医学部長から賞状と賞品が贈呈され、ヤマミイもお祝いにかけつけました。

受賞作は、山口大学安全週間、健康衛生週間のポスターに採用され、安全衛生、健康衛生の意識向上に活用されます。

受賞作品は次のとおりです。

- 【最優秀作品賞】** 総務課 縄田宜司子さん  
「健康は 私の財産 職場の宝」
- 【安全部門賞】** 総務課 木原千賀子さん  
「**や**ればできます 決めたこと  
**ま**もる勇気と 続ける努力  
**み**んなで 創ろう ゼロ災害  
**い**っぱ 先読む 危険予知」
- 【健康衛生部門賞】** 保健学科 戸部郁代さん  
「ありがとう やる気を生み出す 合言葉」



NEWS

## 新中央診療棟増築竣工式を行いました

6月2日(火)、新中央診療棟増築竣工式を行いました。

式では、田口病院長から「病院再開業事業の第一歩、診療及び研究に活用して欲しい」と挨拶があり、続いて、濱野副病院長から施設の概要について説明がありました。

新中央診療棟に増築された部分は、鉄筋コンクリート地上5階建て。新病棟建設などの病院整備計画を進めるなかで、想定していなかった医療環境やニーズの変化に柔軟かつ迅速な対応をするため、転用可能な多目的室などのスペースを確保して増築されました。新設診療科の医局や手術部、保健学科が使用しているほか、多目的室が設置されています。



田口病院長あいさつ



再開業HP「ボイス」画面イメージ

病院再開業整備事業ホームページの「ボイス」を更新しました。このコーナーでは、再開業整備事業への思い、新病棟の魅力について病院職員にインタビューしており、今回は、谷澤副病院長及び手術部のコメントを新たに掲載しました。同ホームページでは、その他整備概要及びコンセプト、担当者ブログ等を掲載し、随時更新しておりますので、是非ご覧ください。



同ホームページを紹介したリーフレットを外来棟1階ロビーと第1病棟2階の売店前に設置しておりますので、ご自由にお取りください。

再開業整備事業へのアクセス

山口大学 再開業

検索



再開業整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>



再開業HP紹介リーフレット



再開業整備事業への思いや新病棟の魅力について語る谷澤副病院長



病棟リレー

各病棟を紹介します！

1 病棟 10 階 東

1 病棟 10 階東病棟は、病床数 39 床で白  
病病・悪性リンパ腫などの血液疾患、糖尿  
病などの内分泌疾患と消化器疾患の患者  
さんが入院されている混合病棟で、看護  
師 27 名、看護助手 2 名、クラーク 1 名（平  
成 27 年 6 月現在）が働いています。

入院患者の約 6 割が血液疾患の患者さ  
んです。昔前まで、「血液疾患Ⅱ血液のが  
ん」は、「不治の病」というイメージがあり

ましたが、現在では画期的な抗がん剤の  
開発や骨髄移植をはじめとする造血幹  
細胞移植による治療法の進歩・普及によ  
り、寛解状態（症状が落ちついており、臨  
床所見でも問題がない状態）を維持し社  
会復帰されている方もたくさんおられま  
す。白血病の初回治療や移植を受ける患  
者さんは、治療後の副作用で免疫力が低  
下し、感染症にかかりやすい状態となる  
ため、クリーンルームで治療が行われま  
す。クリーンルームは、特別な空調設備で  
空中の粉塵が限りなくゼロに近い状態に  
保たれており、感染を予防することがで  
きます。しかし、治療のため長期間の入院  
生活を余儀なくされている患者さんも多  
くいらつしやいます。

長い入院期間を通して、患者さんを支  
えている家族の存在は大きいですが、24  
時間体制で患者さんを看守っている看護  
師の果たしている役割も重要と思います。  
患者さんは、家族に心配をかけたくない  
ため、病気や将来に対する不安を看護師  
に話されることもあります。そのような  
時、看護師はいくら忙しくても、患者さん  
の気持ちに寄り添い丁寧な対応を心がけ

不安の軽減に努めています。

移植をされた患者さんには、退院後も  
外来受診時に病棟に来ていただき、退院  
後の生活で困っていること・心配なことな  
どはないか面談を行い、場合によっては医  
師に相談し、不安なく生活してもらえる  
よう支援しています。患者さんの中には、  
面談期間が過ぎても、病棟に顔を見せに  
来てくださる方もいらつしやいます。患者  
さんの元気な姿をみることは、看護師の  
モチベーションに繋がっています。

また、糖尿病の患者さんは、手術前の血  
糖コントロールや、糖尿病の知識の再確認  
のために入院されます。それぞれ病状が  
異なるので、個人の生活パターンを把握し  
その患者さんに応じた生活指導が必要で  
す。糖尿病患者さんに関しては、病棟で週  
に 1 回、担当医・看護師・薬剤師・栄養士に  
よるカンファレンスを行っており、患者さ  
んに到達してもらいたい目標を立ててい  
ます。糖尿病の患者さんにとって、食事は  
大事な治療の一つです。実際に食品や献立  
を見ながら、どのような工夫をすれば患  
者さんが実践できるか話し合いながら支  
援しています。

10 階東病棟の大きな自慢は、医師と看  
護師の連携がとても良いことです。毎日  
カンファレンスを行い、個々の患者さん  
にとって最善の医療が提供できるよう努  
めています。



看護助手・クラークさんは、  
私たちの大切なパートナーです。



インスリン注射の指導



糖尿病カンファレンス

藤里師長より一言

患者さんが、病気と付き合いな  
がらその人らしく生きていくこと  
ができるには、どう関わればよいか  
日々模索して看護しています。この  
病院に入院してよかったと思っ  
てもらえる温かい看護を目指して  
います。



栄養治療部  
季節のレシピ  
recipe

## 夏本番!

暑さで、お疲れ気味の今日この頃。

作るのも食べるのも面倒になって、麺類や飲物ばかりになっていませんか?

今回は、山大病院で大好評の特製「ヤマミイプリン」ほか、ひんやりおいしいデザートを紹介します。

病院でも常食を食べておられる方は、お目にかかれぬ幻(?)のプリンです。

これらのデザートは卵やヨーグルトを使っていますので、栄養価も高く食欲が出ないときにもおすすめです。

是非お試しください。

Today's menu

### 手作りヤマミイプリン



材料 1人分

- 卵…………… 1/2個
- 牛乳…………… 60cc
- 砂糖…………… 13g
- バニラエッセンス…………… 数滴

栄養成分

エネルギー… 128kcal  
たんぱく質… 5.1g

作り方

- ① ボウルに牛乳・砂糖を入れてよく溶かし、卵を入れてさらに混ぜる。
- ② バニラエッセンスを加え、茶こしなどで濾しながら、器に注ぐ。(濾すことで、口あたりがなめらかになる)
- ③ 鍋に水をはり、アルミホイルで蓋をした器を並べ、火にかける。沸騰したら弱火で10分、火を止め鍋にいたまま予熱で10分。(器によって熱の入り方が違うので、様子を確認しながら時間調節をする)
- ④ 粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やす。



砂糖を人工甘味料(0kcal)のものにすると、エネルギーは50kcal DOWN↓するよ!

Today's menu

### ヨーグルトゼリー



材料 1人分

- 無糖ヨーグルト… 60g
- 牛乳…………… 15cc
- 希釈用殺菌乳製品(カルピス®等)… 15cc
- 粉ゼラチン…………… 1.2g (ふやかす為の水 10cc)

栄養成分

エネルギー… 62kcal  
たんぱく質… 4g

作り方

- ① 水を入れた容器にゼラチンを振り入れ、ふやかしておく。
- ② 牛乳を温め、①のゼラチンを加え溶かす。
- ③ ボールにヨーグルト、②、カルピス®等を加えてよく混ぜる。(しっかり混ぜると口当たりがなめらかになる)
- ④ 器に注ぎ入れ、冷蔵庫で冷やし固める。(1~2時間程度)  
※お好みで果物などを飾ってもよい。



さっぱりしておいしいゼリーだよ!

**NEWS**

**平成27年度 病院優良従業員  
表彰伝達式が行われました**



表彰伝達式の様子

6月22日(月)、「平成27年度病院優良従業員表彰」伝達式を行いました。

この表彰は、社団法人山口県病院協会から、県内の病院に  
従事する勤務成績の優秀な病院職員に贈呈されるものです。

伝達式では、田口病院長から受賞者に表彰状と記念品が授  
与され、本病院への功労に対する敬意ならびに今後のさらなる活  
躍を期待する旨の祝辞がありました。

また、眼科鈴木准教授、猪上看護部長、岩村事務部長、原田  
副看護部長も同席し、受賞を祝しました。

受賞者は次のとおりです。

**受賞者** 看護部 副看護師長 藤井晴枝  
眼科 視能訓練士 村上紗和子

**NEWS**

**朋和会への感謝状贈呈式を行いました**



6月24日(水)、病院の運営発展のために外来診療棟横に新  
立体駐車場の寄贈をいただいた一般財団法人朋和会へ、  
感謝状贈呈式を執り行いました。

式では田口病院長から、同財団の沖田極理事長へ感謝状が  
贈られ、感謝の言葉が述べられました。

新立体駐車場は4月1日から運用を開始しており、駐車可能台  
数は528台と旧立体駐車場の約2.6倍に増え、来院する全ての  
患者さんが病院に隣接した駐車場を利用できるようになりました。

**NEWS**

**平成26年度 医学部附属病院  
治験功労者表彰式が行われました**



(左から)泌尿器科 松本先生、  
眼科 柳井先生、泌尿器科外来 吉田看護師

6月17日(水)、平成26年度医学部附属病院治験功労者に  
対する表彰式を執り行いました。

この表彰は、治験の推進に特に顕著な功績があった個人及  
び団体を表彰するものです。

表彰式では、田口病院長から治験症例を多く登録した医師を  
表彰するとともに、敢闘賞として、チームとして各種検査等に協力  
した部門のスタッフを表彰しました。また治験への貢献に対する謝  
辞ならびに今後の更なる活躍を期待する旨の祝辞がありました。

平成26年度の受賞者は、次のとおりです。

<b>個人賞</b>	<b>敢闘賞</b>
第一位 泌尿器科 助教 松本洋明	泌尿器科外来
第二位 眼科 講師 柳井亮二	

**NEWS**

**宇多川看護師長が  
山口県健康福祉功労者知事表彰を受賞**

このたび、先進救急医療センターの宇多川文子看護師長が  
「平成27年度山口県健康福祉功労者(優良看護職員)知事表  
彰」を受賞しました。

この表彰は、社団法人山口県病院協会から、多年にわたり看  
護業務に従事し、県民の保健福祉の向上に顕著な功績があっ  
た優良看護職員に贈られるものです。

宇多川看護師長は、「この度の受賞にあたり、これまで支えてく  
ださった方々へ感謝と御礼を申し上げます。長い間仕事を続けら  
れたのは、くじけそうになった時、看護のすばらしさを教えてくださ  
った患者さんや先輩看護師の皆様のお陰です。これからも受賞を  
励みに自分の役割を全うしていきたいと考えております」と、受賞  
の喜びを語りました。



**編集後記**

7月上旬まで、外来ロビーに七夕コーナーを設置していました。ご厚意で寄贈された笹に、色とりどりの七夕飾りや  
患者さんや来院された方の願いごとの書かれた短冊が飾られ華やか雰囲気となりました。

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。  
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽に  
お寄せください。

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行：山大病院だより編集委員会  
事務担当：山口大学医学部総務課総務係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号  
TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

